



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平 7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小山敏正

第77号

2008年

6月発行

【ブログアドレス】

<http://plaza.rakuten.co.jp/nakanoakito>

しんぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円

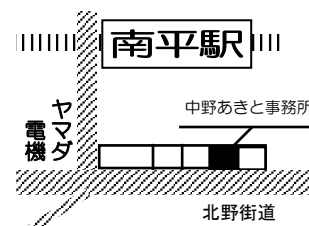
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み・南多摩事務所

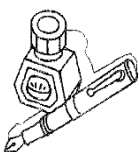
TEL042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



市は「身の丈に合った予算編成が必要」と説明。前年比で21億円の予算縮減をはかりました。しかし、縮減の対象はきわめて恣意的で、福祉や教育など、市民サービスに集中しています。



市は「身の丈に合った予算編成が必要」と説明。前年比で21億円の予算縮減をはかりました。しかし、縮減の対象はきわめて恣意的で、福祉や教育など、市民サービスに集中しています。

市では、小中学校の校舎の耐震補強工事については昨年度までに完了させ、今年度と来年度の2年間で体育館の耐震工事を完了させる計画でした。ところが今年度、小学校5校、中学校2校で予定していた体育館の耐震補強工事の予算を全額カットしたため、計画は先送りせざるを得なくなりました。

その一方で、「市民の森ふれあいホール」の建設費が計上されました。3年間で26億円の投入です。新選組まつりの補助金も増額されました。学校体育館の耐震補強工事は、一校あたり5000万円前後です。「ふれあいホール」の建設については、様々な意見があると考えられますが、子どもたちの安全や、地域の避難・防災センターにもなる学校施設の耐震補強工事を、緊急かつ最優先させることは市民の一致した考えではないでしょうか。

日本共産党市議団は、このことを6月議会の中でつよく主張していきます。

予算の縮減

福祉・教育をカット

一方では大型施設

「ふれあいホール」の建設

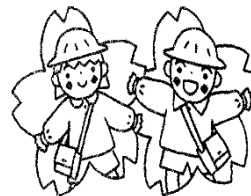
学校体育館などの耐震補強先送り

中国四川省の大地震で改めて問われる

中国四川省の大地震では、小中学校の校舎などが倒壊し、多くの子どもたちが犠牲になりました。こうした中で、日野市が新年度に計画していた小中学校の体育館などの耐震補強工事を先送りしたことに、その責任が改めて問われることになりました。

残されている校舎、体育館、保育園の補強工事

- ◎統廃合で廃校になるため対象からはずされた旧百草台小と、05年に法令の改正にともない新たに対象となった6小南校舎の2階建て部分、改築を検討中の2中北校舎の工事が遅れている。
- ◎学校体育館は、今年度7校で予定していたものがすべて先送りとなり、合わせて10校の耐震補強工事が残されている。
- ◎公立保育園（12園）は、6園の耐震補強（診断も含む）が残されている。



村松みえ子現都議

四期目をめざす

日本共産党は来年夏に予定される都議会議員選挙の第一次予定候補者を発表。日野選挙区で村松みえ子現都議の擁立を決定しました。

【プロフィール】都議会議員3期。山梨県出身。NBC工業勤務35年。3小・大坂上中元PTA会長。都議会厚生、文教委員長歴任。日野原水協理事。61才。家族は夫、義母、1女2男。

短信

年金制度への不信、担当も説明できない後期高齢者医療制度。はたして「天引」された保険料の額は正しいのか、税金も天引になりはしないか。「もう役所も国も信用できない」そんな訴えを事務所の電話で承った▼車は要らない、酒は飲まない、ブランドファッションには興味無い。そんな若者が増えているという（NHKニュース）。

広がる不安定雇用の収入を考えれば領けるが、正規雇用の若者にも及ぶという。インタビューでその一人は、毎月数万円ずつ貯金すると答えた。「支給を受ける頃の年金は、きつと微々たるもの」老後は自分で備えるしかないという▼国への信頼が音を立てて崩れている。広がる高齢者医療制度への怒り、市場任せの経済政策が呼んだ貧困と格差。国民の多くは自民党政権に見切りをつけ、新しい政治を模索しはじめています▼「資本主義が限界か？」「日本共産党志位委員長に聞く」というテレビ朝日の企画（5月18放映）が反響を呼んだ。共産党員作家・小林多喜二の「蟹工船」が、若者の間にブームをよんでいる。「どんな資本主義を目指すのか」世紀が変わり八年。国のあり方を問う時代が到来した。（K）

築地市場 移転問題

石原知事は移転断念を

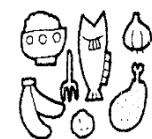
5月19日、東京都が築地市場の移転先としている豊洲地区の土壌・地下水汚染についての再調査の結果が、都の専門家会議で公表されました。これにより、土壌深部まで環境基準以下にするには莫大な経費がかかることが改めて判明しました。また、地下水の汚染も明らかで、土壌が再汚染することは避けられません。日本共産党都議団は石原知事に、豊洲移転の断念を求める見解を発表しました。

豊洲の移転予定地から 高濃度のシアン化合物

予定地の四千百ヶ所で行った再調査。その結果、表層土壌から発がん性物質のベンゼンが環境基準の四万三千倍の濃度で、猛毒のシアン化合物も、基準の八百六十倍の濃度で検出される箇所が見つかるなど、基準を超える箇所は九十に及んでいます。また、地下水からもベンゼン、シアンなどが検出され、高濃度で汚染されているのが確認できます。

移転は「受け入れがたい」 土地所有者(東京ガス)

弊社としては受け入れがたい(00年1月)。土地所有者である東京ガスが、こんな文章を東京都に提出していたことが共産党村松みえ子都議の委員会質問(07年1月)で明らかにされています。土地所有者も難色を示した豊洲移転知事は、市場関係者や都民の声に答え、断念すべきではないでしょうか。



「後期高齢者医療制度」・日本共産党がアピール 撤廃の一点で国民的共同を

日本共産党は5月8日、「高齢者差別の医療制度は廃止しかないー撤廃の一点での国民的共同を呼びかけます」というアピールを発表しました。「後期高齢者医療制度」に対しては、負担が増すだけでなく制度そのものに深い怒りが広がっています。自民・公明の与党も、制度の一部「見直し」を言い出していますが、小手先の手直しですむ問題ではありません。中曽根元首相、塩川元財務相、堀内自民党元総務会長などの長老も含め、「考え直せ」という声が与党陣営内からも上がっています。「アピール」は、制度の撤廃の一点で、政治的立場や社会保障

に対する考え方などの違いをこえて、国民的共同を広げて「廃止」に追い込むこと。その上で、国民が安心できる医療制度をどうつくるか、財源問題を含めて国民的討論により合意をはかる必要があると呼びかけています。

【廃止しかない三つの理由】

1. 医療費削減のための高齢者差別法は許さない。
2. 制度が存続すればするほど国民を苦しめる。
3. 全ての世代に重い負担と医療切り捨てを押し付ける。

◇差別医療が導入される
◇保険料は天井知らずで値上げされる

私の活動の原点 都議会議員 村松みえ子

みえ子の 飛びある記



四期目をめざし更にながらぶことになりました。日野は定数2の激戦区。ご期待にこたえられるよう決意を新たにしています。

市内の繊維工場で働いていた私が、何で皆さんのお力を得て都議会議員になったのか。

いま、小林多喜二の「蟹工船」が、若い人の間でブームです。地獄といわれた蟹工船の中で労働者が団結し立ち上がりますが、私の活動の原点もそれに似ています。15才で集団就職。真冬でも寮の10畳の部屋に小さな火鉢が一つ、お風呂は一日おきでした。労働組合をつくり団結して会社と交渉。部屋にはコタツが入り、お風呂も毎晩となりました。賃金も上がり、賃金保障の生理休暇も取得できるようになりました。労働組合の活動を通じて地域の方々とも力を合わせ、革新市政や革新都政の誕生にも参加しました。「みんな一緒にがんばれば職場も政治も変えられる。」これが私の信念です。ご一緒にがんばりましょう。

《08年7月の無料法律相談》

村松みえ子事務所 午後6時～8時

7月 3日(木)

市役所6階・共産党控室 午後1時～3時

7月10日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所 TEL042-582-0504

中野事務所 TEL042-599-3350

【6月市議会】共産党市議団の一般質問

6月2日から行われる6月市議会の本会議一般質問は、以下の内容で行います。詳しくは本ニュース次号又は、全戸に配布する「共産党・議員団ニュース」で報告する予定です。

- 〔奥野りん子〕 1. 公正、透明な生活保護行政のあり方を問う。
2. 高齢者の負担軽減・・・高齢者福祉施策を問う。
- 〔清水とし子〕 1. 学校の耐震補強工事の先送りは許されない
2. 後期高齢者医療制度の廃止、自治体としての声を
- 〔大高 哲史〕 1. 「73号棟に住み続けたい」(高幡台団地) 住民の声に市はどう応えるのか。
- 〔中野あきと〕 1. 「新子どもの人口推計」は、待ったなしの子育て、教育ニーズに応えるものになっているか。
- 〔中谷 好幸〕 1. 「市民の森ふれあいホール」とは何か。
2. 病院の存立をおびやかす「お産の受け入れ停止」市民の市立病院を守ろう。